



副市長就任

6月1日から新たに五月女治が副市長に就任しました。

五月女副市長は、昭和62年4月に南河内町に奉職して以来、長年にわたり行政に携わってきました。

就任のあいさつでは、「坂村市長の基本姿勢であります『すべての世代が幸せを実感できるまちづくり』を踏まえ、さらなる魅力的なまちへの発展を目指し、もとより微力ですが職員と力を合わせ、誠心誠意取り組んでまいります」と決意を示しました。



しもつけワイズ

問2

しもつけ子ども歴史講座で体験できるのは？

①お菓子づくり

②風鈴づくり

③ロケットづくり

自治医科大学医学部1年生の行政演習を行いました

5月16日、自治医科大学医学部1年生122名が、授業科目「医療政策学」の演習として市役所を訪れ、見学実習を実施しました。

この演習は、本市と自治医科大学が昨年6月に締結した連携協力に関する協定に基づく取り組みの一環として昨年から実施しており、今回2度目の開催となりました。

医学部の卒業生が出身都道府県に戻り、公務員(医師)として地域医療に従事するという自治医科大学と本市ならではの取り組みであり、行政実務や地域社会への理解を深めるため、学生は4・5名のグループに分かれて各課で見学実習を行いました。



学生代表であいさつをする
下野市出身の唐橋さん



行政の業務を体験するため、
学生が市役所内の各課を訪問



坂村市長から地域医療の未来を担う学生へ
メッセージが伝えられました

人権の花運動

花を通して思いやりの心を

「人権の花」運動は、児童が協力しながら花を育てることで、やさしい思いやりの心や人権思想を育むことを目的としています。5月から6月にかけて、人権擁護委員が市内小・義務教育学校5校を訪問し、児童へマリーゴールドやサルビア、ペコニアなどの苗を手渡しました。

人権擁護委員からは「協力してお花を育てながら、命の大切さや思いやりの心を育ててください」、「誰にも言えない悩みや困ったことがあったら、手紙で相談できるSOSミニレターや、子どもの人権110番(0120(007)110)を活用してください。必ず相談に乗ります」と話がありました。

